



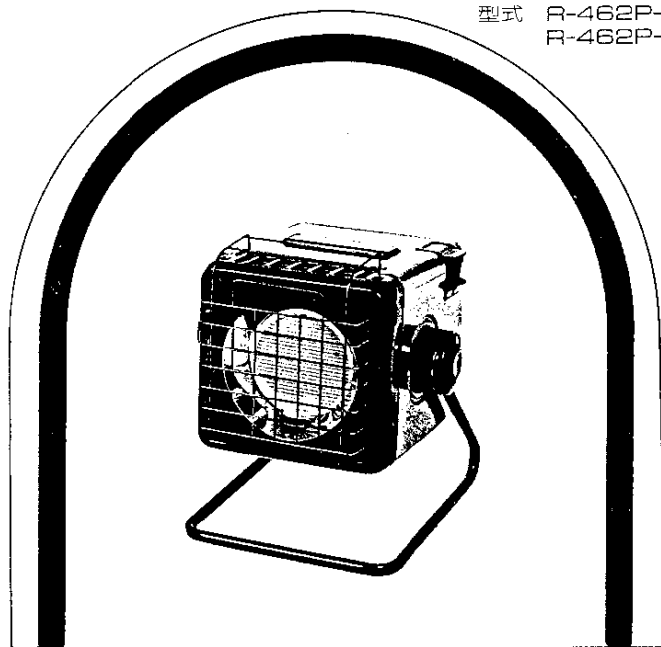
大阪ガス

ガス 赤外線ストーブ

取扱説明書 43-412,43-413,43-414型

保証書付

型式 R-462P-201
R-462P-202



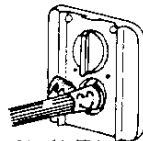
本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

本社ガスビルサービスセンター	●541	大阪市東区玉造2丁目	☎大阪 06 (202) 2221
南支社	●557	大阪市西区玉造2丁目9番41号	☎大阪 06 (652) 0001
北支社	●532	大阪市東区玉造2丁目6番15号	☎大阪 06 (301) 1251
堺支社	●590	堺市北区大倉町2丁目19番	☎堺 0722(39) 1131
北摂支社	●569	兵庫県神戸市東灘区39番5号	☎高槻 0726(71) 0361
阪神支社	●662	西宮市和上町4番11号	☎西宮 0798(26) 3101
東部支社	●578	堺市東区船場2丁目3番17号	☎河内 0729(62) 1131
京阪支社	●573	枚方市藤田町16番17号	☎枚方 0720(41) 1251
神戸支社	●650	神戸市中央区相生町4丁目19番10号	☎神戸 078(576) 5231
京都支社	●604	京都市中京区丸太町西側第355	☎京都 075(234) 8151
奈良支社	●631	奈良市学園北2丁目4番1号	☎奈良 0742(44) 1111
和歌山支社	●640	和歌山市本町1丁目	☎和歌山 0734(31) 2481
姫路支社	●670	姫路市和野町4丁目5	☎姫路 0792(66) 2221
東播支社	●675	加西市西加西町東第25-1	☎加西 0794(21) 1801
豊岡支社	●668	豊岡市三坂町3丁目57番25	☎豊岡 07962(3) 2221
津和野支社	●525	津和野市金町字第2 530号	☎津和野 0795(62) 5311
彦根支社	●522	彦根市大町支店11番11号	☎彦根 0748(22) 3131
(長浜営業所)	●526	長浜市町南第3番4号	☎長浜 07486(2) 7171

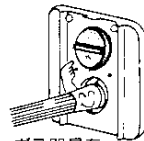
その他当社サービスステーション、およびサービスショップ

大阪ガス株式会社

ガス器具をお使いになる時のご注意



ガスゴム管も
ときどき点検
よいゴム管を
ガッチリと



ガス器具を
お使いになった
あとは必ず
お部屋の元せんも
閉める習慣を



ガス器具は
ガスの種類
にあった
正しいものを

- ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス赤外線ストーブをお求めいただきありがとうございました。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保存してください。

もくじ

- 各部の名称..... 1
- 特に注意していただきたいこと..... 2
- 器具の設置..... 8
- 使用手順..... 10
- 使用時のご注意..... 13
- 日常の点検・お手入れ..... 14
- 故障・異常の見分け方と処置方法..... 16
- アフターサービスのお申し込み..... 17
- 長期間使用しない場合..... 18
- 特 長..... 18
- 寸法図と仕様一覧..... 19

各部の名称

この器具は、電池式連続放電点火方式を採用していますので、乾電池が必ず必要です。くわしくは16ページ「部品の交換」をご覧ください。

ハンドル

器具移動時の取手です。
引き出してご使用ください。
電池確認ランプ



排気排出口

ご使用中は熱くなります。

メインバーナー

反射板

パイロットバーナー

ゴム管口

ゴム管の接続口です。

キャップ

取りはずしてご使用ください。

本体

点火ボタン

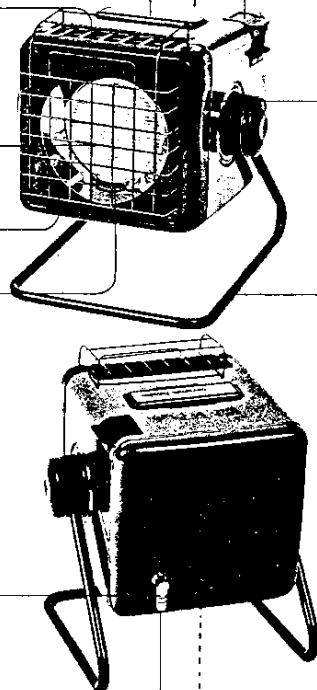
点火、再点火用の
このボタンです。

前板

この面は熱く
なります。

脚

電池ケース



特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

使用ガスについてのご注意

- ガスの種類を確かめてください。

ガス器具本体の右側面にはついている銘板(ラベル)に表示のガスの種類と、お宅のガスが一致しているか確かめてください。

(銘板)

メーカー型式

ガスの種類およびグループ

ガス消費量

製造年月および製造番号

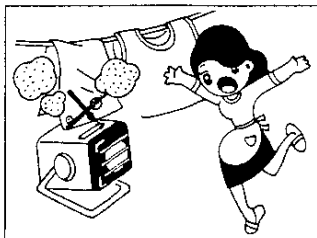
製造業者名

- 都市ガス
6C・6A用
- 都市ガス
13A用
- L.Pガス用

- ガスの種類には、都市ガスとL.Pガスとがあり、都市ガスには、ガスグループの区分があります。
- 転居されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

用途についてのご注意

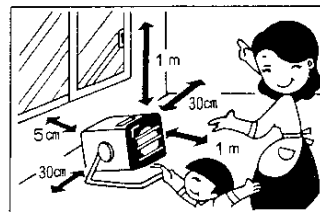
- 暖房以外の用途(洗たく物の乾燥など)には使用しないでください。



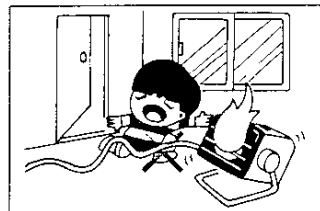
特に注意していただきたいこと②

使用場所についてのご注意

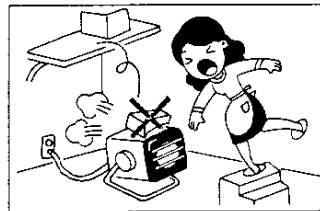
- 家具、壁、カーテンなど燃えやすいものや、引火性のものからは、じゅうぶんに離してください。
後の壁から5cm、横の壁から30cm、前方および上方1m以内に家具、建具などのない安全な正しい位置を選んでください。



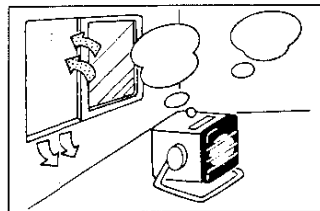
- 部屋の出入口など人の通るところや強い風の吹き込むところでは使用しないでください。
風で吹き消されたり、やけどや転倒の危険があります。



- たなの下など落下物の危険のあるところでは使用しないでください。



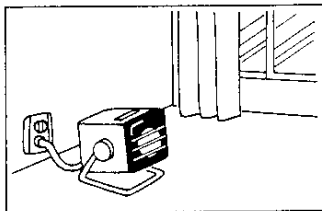
- 換気(給気・排気)が、じゅうぶんできるところに設置するか、換気できるようにして使用してください。



特に注意していただきたいこと③

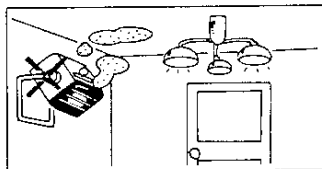
- 器具の設置はお部屋の元せん近くをお選びください。

ゴム管を長くすると、あやまってふんだりひっかけたりして、ストーブをひっくりかえすおそれがありますので、できるだけ、元せんの近くに設置してください。



- 器具の設置は床置き以外では使用しないでください。

器具を壁に掛けたりしてご使用になると器具が損傷するばかりでなく火災の原因となり危険です。



使用上のご注意

ガス漏れ予防

- ゴム管は良質のものを買い、時々とりかえてください。

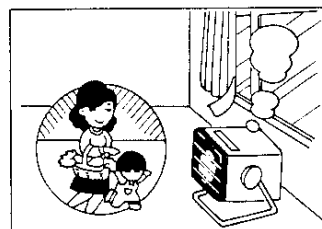
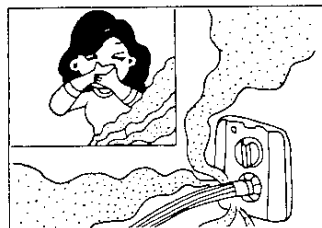
(ゴム管のおとりかえの目安は約3年です)

ゴム管が古くなりますと、お部屋の元せんや器具せんから抜けやすくなったり、ヒビ割れて、ガス漏れの原因になり危険です。

- ゴム管は、ガス用ゴム管を使用し、ビニール管は絶対に使用しないでください。

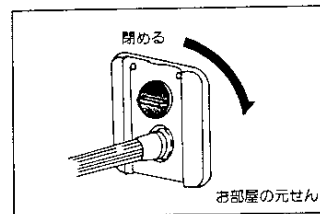
ビニール管は弾力性がなく、熱にも強くありません。

- ストーブをご使用中は決して外出しないでください。



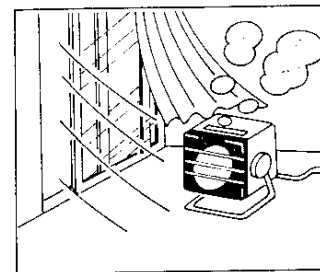
特に注意していただきたいこと④

- 器具をご使用にならないときや、外出前またおやすみ前には、万一の事故がないように、必ずお部屋の元せんをしめてください。

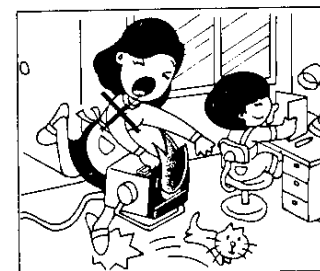


火災予防

- 器具の上やそばに燃えやすいもの(紙、カーテン、家具、揮発油など)を絶対にいたり近づけたりしないようにしてください。



- 使用中は、火をつけたまま器具を移動させないでください。
火災や、やけどのおそれがあり危険です。

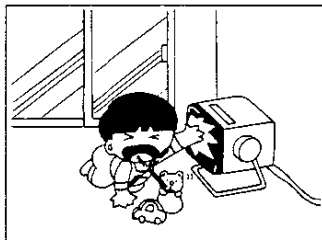


- 器具の中へ物を入れしないでください。
器具の中へ物を入れますと、思わぬ事故のもとになります。物を入れないよう、入らないように注意してください。
万一物が入った場合はすぐに器具の外へ出すようにしてください。

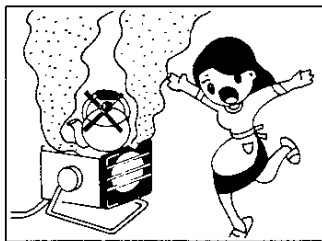
特に注意していただきたいこと⑤

やけどのご注意

- ご使用中およびご使用直後は、器具本体と排気出口部、放熱部とその周辺は熱くなりますので、手を触れたりしないでください。
特に小さなお子様がいるご家庭はご注意ください。



- 器具の上には、なべやかんなどをのせないでください。
お湯がこぼれて火が消えたり、やけどをしたりするおそれがあり危険です。



換気のご注意

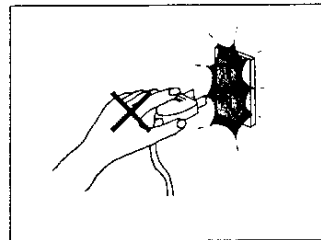
- ストーブを使用中は30分に1回1分間程度換気扇を回すか、窓を開けるなどしてじゅうぶんな換気をおこなってください。
しめきった部屋で長時間使用すると空気中の酸素が減少し、不完全燃焼による一酸化炭素中毒の危険があります。



特に注意していただきたいこと⑥

ガス事故防止

- ガス漏れに気づいたときは、すぐ使用をやめてお部屋の元せんを閉じ、窓や戸を全部あけて、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガス支社に連絡してください。



〈ご注意〉

万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり換気扇その他電気器具にふれたりしないでください。
スイッチの入・切や電源プラグの抜き差しなどの火や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

異常時の処置

- ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのまま使いにせず、直ちにご使用を中止（器具せん、お部屋の元せん閉止）してじゅうぶんな点検をお願いします。
（故障・異常の見分け方と処置方法については16ページをお読みください）

日常の点検、手入れ

- 器具を安全、快適にお使いいただくために、日常の点検、手入れは必ず行なってください。
（点検、手入れの方法については14ページをお読みください）
- 故障または破損したと思われるものは、使用しないでください。不完全な修理は危険です。
万一異音が悪くなって処置に困るような場合は、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガス支社に連絡してください。

器具の設置

設置前の準備と確認

梱包材料の除去

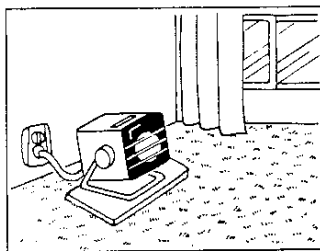
- ゴム管口のキャップを取りはずしてください。
ゴム管口には輸送、保管時におけるゴミ混入防止のためキャップがついています。取りはずしてご使用ください。
また、シーズンオフなど長期間ご使用にならない時に収納される場合は、ゴム管口にキャップをつけて収納してください。

使用ガスの確認

- 器具銘板の表示ガス（ガスグループ）とご使用になるガスとが一致しているかご確認ください。

設置上のご注意（設置状態の確認）

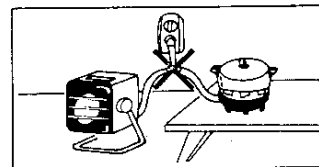
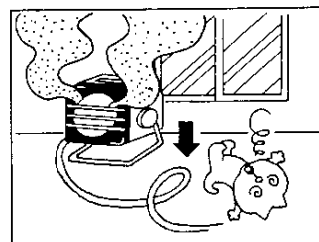
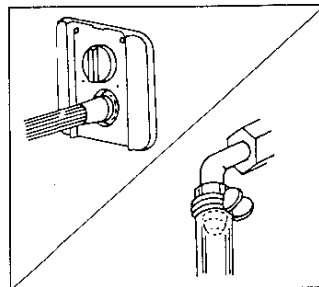
- 周囲に可燃物（木製の壁・たななど）のある場合は、じゅうぶん離れているところでご使用ください。
（詳しくは3ページ「使用場所についてのご注意」の項参照）
- 毛足の長いじゅうたんの上で使用する場合は、丈夫な不燃性の台にのせて使用してください。



器具の設置②

ゴム管の接続

- ゴム管は赤線まで差し込んでしっかりとめてください。
9.5mmφ（内径9.5ミリ）のゴム管を使用し、お部屋の元せん、器具せんともゴム管口の赤線まで、じゅうぶん差し込んでゴム管止めでしっかりとめてください。
ゴム管止めでしっかりとめていないと、知らずにはずれかかってガス漏れが生じることがあり危険です。
- ゴム管はガス用ゴム管を用い、折れたりねじれたりしないよう、できるだけ短かく（3m以内）、器具の下を通したり、器具に触れないようにしてご使用ください。
器具の下を通したり、器具に触れていると、ゴム管が過熱して早く傷んだりして危険です。
- ゴム管の継ぎたしや二又分岐は行わないでください。
- ガスコード（強化型小口径ガスホース）は、13A器具のみ使用可能です。



ゴム管のとりかえについて

- ゴム管は良質なものを用い、時々とりかえてください。
（ゴム管のおとりかえの目安は約3年です）
ゴム管が古くなりますと、お部屋の元せんや器具せんから抜けやすくなったりヒビ割れて、ガス漏れの原因になり危険です。

使用手順

点火前の準備と確認

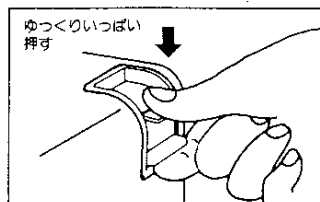
器具周辺の危険物などの点検

- ゴム管が器体の高温部に触れたり、危険なところに設置されていないか確認してください。

点火前の準備

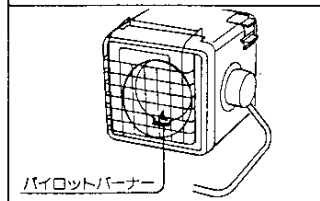
- 点火ボタン(器具せん)の「止」を確認し、お部屋の元せんを全開にしてください。

点 火

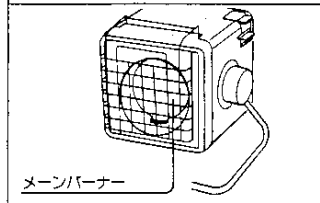


①点火ボタンを途中で止めずにゆっくりいっぱい押すと「パチパチ」とスパークして点火します。

点火ボタンは、ケースの凸部に指をかけボタンをつまむようにして押してください。



②点火し、バーナーに着火したことを確かめてから手を離してください。



③点火ボタンより手を離してからバーナーの着火(バーナー表面が赤熱します)を確かめてください。

・着火しなかった場合は、点火ボタンを一旦押し止にしてから点火の操作を①から繰り返して行ってください。

使用手順②

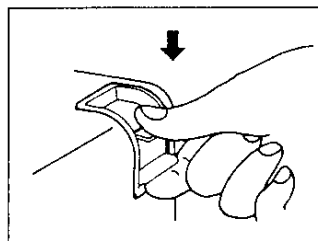
〈ご注意〉

- 点火の際はストーブに顔を近づけないでください。特に消火後すぐにご使用になる場合は絶対に顔を近づけないでください。
- 購入後初めて点火するときや、シーズン初めに点火するとき、ゴム管に空気が入っていて点火しないことがあります。この場合は空気がぬけ点火するまで点火ボタンを押し続けてください。
- 点火初期に「ブーブー」と音がする場合がありますが、しばらくすると音はなくなります。
- 点火ボタンを強く押し込んだり、足で押さえないでください。
- 点火ボタンは、指でつまむようにして押してください。上から強く押しますと器具の角度が変わる場合があります。

空気調節

この器具は各ガスの種類に合わせてあらかじめ空気調節をしてありますから点火したらそのままお使いください。

消 火



- 点火ボタンを、つまむようにしていっぱい押してから手を離してください。

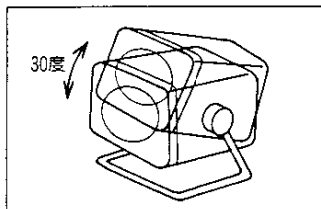
〈ご注意〉

- 必ず火が完全に消えたか確かめてください。
- 消火後すぐにご使用になる場合は、1分間程待つてから点火してください。
- 長時間使用されないとき(就寝時、外出時など)は、器具せんを閉めるだけでなく必ずお部屋の元せんを開けてください。

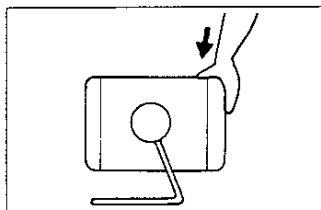
使用手順③

放射角度の調節

この器具は、本体の角度を変えてお好みの放射方向が得られます。お好みの位置に調節してご使用ください。

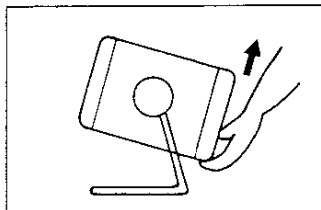


- 本体の角度（放射の角度）は、約30度の範囲で調節できます。



上向きにする時は

- 本体後部を押し下げてください。



下向きにする時は

- 本体後部の下側を持ち上げてください。

〈ご注意〉

- ・ 本体の角度を変える時は、必ず消火してください。
- ・ 本体の角度を変える時は、器具前面（ガード、排気排出口、前板）に触れないよう注意してください。火傷のおそれがあります。

使用時のご注意

安全装置が作動したときの処置方法

ご使用中にバーナーが消火してしまった時は、次の方法ならびに16ページ故障・異常の見分け方と処置方法により処置してください。

消火センサー

ご使用中にバーナーが消えたときには安全装置が働いて自動的にガスが止まり、生ガスの放出を最少限におさえます。

このような場合は、点火ボタンを①に一旦戻し、再点火してください。

- 異常な燃え方に気をつけてください。

使用中メインバーナーが赤熱しないでゴーゴーと音をたてて燃える時は異常燃焼をしています。

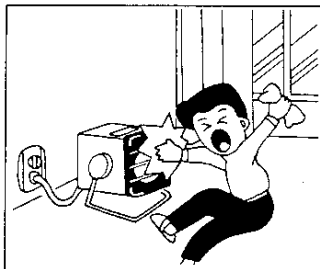
点火ボタンを①に、いったん戻し、少し間をおいてもう一度点火操作をしてください。そのまま使用されますと器具をいためます。

なお、異常な燃え方がおこなったときや火がつかなかった時はご使用にならないで（お部屋の元せんを閉めて）お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガス支社に連絡してください。

日常の点検・お手入れ

点検・手入れの際のご注意

- 点検・手入れについては、下記の日常の点検以外はお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガス支社に依頼してください。
- 点検で異常を見つけれられたときは、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガス支社に修理を依頼してください。
- 点検・手入れの前には必ずお部屋の元せんを閉じ、器具がじゅうぶん冷えてから行なってください。
- 器具内部の部品（ガス通路など）は絶対に分解しないでください。



点 検

安全にお使いいただくためにときどき点検してください。

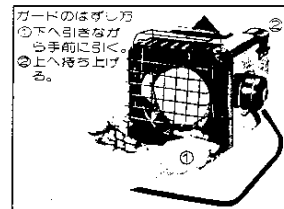
- ゴム管はガス用ゴム管を使用し、器具およびお部屋の元せんともゴム管口の赤線までじゅうぶん差し込み、ゴム管止めで止めてあります。
- ゴム管が器具の高温部に触れたり、折れたり、ねじれたりしていませんか。
- ゴム管が古くなって、ひび割れしたり、差し込み口がゆるんでいるためガスが漏れていないかときどき石けん水などで点検してください。
- 器具の近くに、紙、プラスチック、油類など燃えやすいものが置いてありませんか。
- ガードが正しくセットされていますか。
- 空気口にほこりがたまっていないか。

日常の点検・お手入れ②

お手入れ

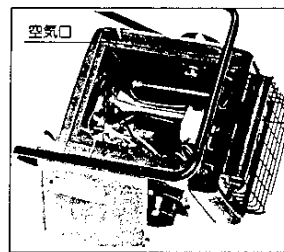
そのつど

- 器具外表
やわらかい布をぬるま湯でぬらしてよくしぼってからふいてください。
〈ご注意〉
ベンジン、シンナーなど揮発性のものは絶対にご使用にならないでください。色があせませす。
- 反射板
反射板は、ガードをはずしてお手入れしてください。
お手入れを長期間しないとほこりがたまったり、変色したようになりますので欠かさないようにしてください。



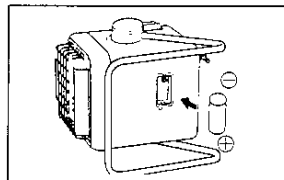
ときどき

- 空気口
シーズン初めのご使用前およびその後一カ月に1回程度、バーナー空気口（空気取り入れ部）にたまったほこりやごみなどを掃除機などで取り除いてください。
〈ご注意〉
器具内部の部品は調整してありますので触れたりしないでください。



部品の交換

- 点火用の電池は電池ケース（器具底面にあります）に正しくはめこんでください。電池は単1（1.5V）1個使用です。
- 電池確認ランプは電池が正しくセットされ、点火操作したとき点滅します。正しくセットされても点滅しないときは消耗しています。新しい電池と交換してください。



故障・異常の見分け方と処置方法

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちにご使用を中止してじゅうぶんな点検をお願いします。

現象 原因	点火ボタンの押し直し 点火ボタンの押し直し 点火ボタンの押し直し	ガスバルブ 半開き	着火・火移のチェック	爆発時に着火する	使用中に消火した 消火しやう	バーナーガスの赤外線がない	処置方法	参照ページ
お部屋の元せんの開け忘れ	○						器具せんを一旦閉じてからお部屋の元せんを全開にする	10
お部屋の元せんの開き不じゅうぶん	○	○	○	○		○		10
ゴム管内に空気が残っている	○		○				ガスが正常に出るまで点火操作を繰り返す	10
ガス圧が適切でない	○		○	○		○	他の器具も同様の場合は点検を依頼する	—
ゴム管の折曲り・つぶれ	○	○	○		○	○	ゴム管をなおす	9
ゴム管のお部屋の元せんへの差し込み不足	○	○	○		○	○	ゴム管をじゅうぶん差し込む	9
ゴム管の差し込み部分の劣化・軟化	○	○	○		○	○	ゴム管を交換・先を切りつめる	9
消火センサーが作動	○				○			—
点火装置の故障	○						点検・修理を依頼する	—
炎検出部の汚れ	○				○			—
乾電池の消耗	○	○					乾電池を取替える	15

処置方法や原因のわからないときは、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガス支社へご連絡ください。

アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

- 16ページの故障・異常の見分け方と処置方法の項を見てもう一度ご確認ください。
- 確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理をなさらないでお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガス支社にご連絡ください。なおご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

- (1) 品名……………(ガス赤外線ストーブ)
- (2) 品番(例)

(4)(7)43-412(U)

大阪ガス株式会社 **04**

- (3) 現象……………(できるだけ詳しく)
- (4) 道順……………(できるだけ詳しく)

転居される場合

- ガスには都市ガス14種類およびLPガスの区分があります。ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認のうえ、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガス支社にご相談ください。この場合、調整、改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証書について

- この器具には保証書がついています。このガスストーブは保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

長期間使用しない場合

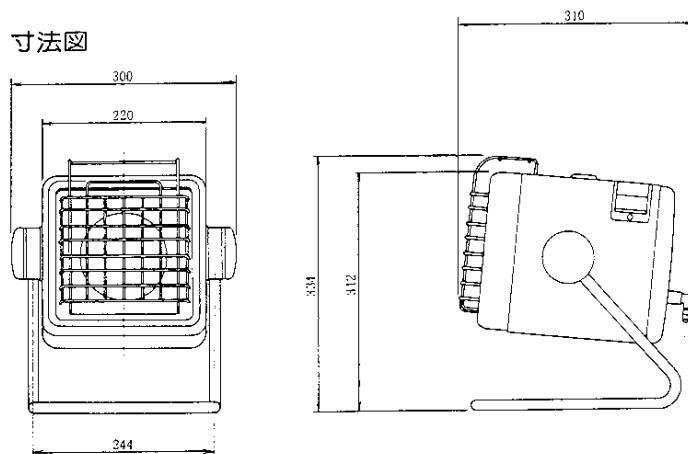
14ページの「お手入れ」に従ってお手入れし、ガス通路にほこりが入らないようゴム管口にキャップをつけてビニールカバーをかぶせ、ダンボール箱に入れて湿気やほこりの少ないところへ保管してください。

特 長

- 1** このストーブは、セラミックプレート式バーナーを採用していますので、放射効率が高く加熱時間が短くてすみ、たいへん経済的です。
- 2** 消火センサー付ですので、万一バーナーの火が消えても安全バルブを閉じて生ガスの放出を最少限におさえます。
- 3** 電池式連続放電点火式の採用とボタン式コントロールの採用により点火操作がソフトな感覚となりました。また、点火も1回の操作で確実な点火が得られます。
- 4** クイックセッター方式採用により、点火ボタンを15秒ほど押し続けるわずらわしさがなくなりました。
- 5** 放射方向が上下方向で変えられますので使用目的に合った暖房が得られます。
- 6** 持ち運び用のハンドルがつきましたので、器具の移動が簡単になりました。

寸法図と仕様一覧

寸法図



仕様一覧表

品 名	43-412, 413, 414	
種 類	設置の形態	す え 置 式
	給排気方式	開 放 式
	放熱方式	放 射 式
外形寸法	高 さ	334mm
	幅	300mm
	奥 行	310mm
重 量	3.7kg	
接 続	9.5mm φガス用ゴム管	
点 火 方 式	連続放電点火方式	
暖 房 の 目 や す	4.5畳～6畳	
安 全 装 置	消火センサー	
使用ガスグループ	1時間当たりのガス消費量	
都市ガス用	6 A	1550 kcal/h
	6 C	1550 kcal/h
	13 A	1650 kcal/h
L P ガ ス 用	0.13 kg/h	

おねがい

ガスくさいときは、お部屋の元せんを閉め、窓を全開にしてから
(火気に注意して)、大阪ガス支社にご連絡ください。